

令和6年度 小平市立小平第六小学校 学校評価計画表

学校教育目標		①元気でしようぶな子 ③仲よくなる子	②よく考えてやりぬく子＜重点目標＞ ④進んで働く子
目指す学校像(ビジョン)			
【目指す学校像】		できる喜び、わかる楽しさを味わい、みんなの笑顔が輝く学校	
【目指す児童・生徒像】		自分の思いや願いをもち、表現できる子ども	
【目指す教員像】		明るく愛情にあふれ、学び続ける教師	
前年度までの学校経営上の成果と課題			
[成果]積極的にICT活用を試みたことで、短縮できた時間で児童と向き合う時間の確保と教育活動の充実を図ることができた。 [課題]校内研究を通じて、心地よく関わり学び合う児童を育てていくとともに、一人一人の良いところを認め合う学級環境を作っていく。			
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策
学力向上	進んで学ぶ子どもを育てるために、主体的で対話的で深い学びに向けた授業改善を図る。	教科担任制を取り入れ、学習に対する主体性や対話力を高める。	教科担任制による教科の専門性を生かした授業作りを行い児童の学習意欲を高められるようにする。また、共に学ぶ楽しさを実感できるように小集団での学び合いを推進する。「朝礼」を導入し、「話す・聞く」力を高めるための時間を全学年で取り入れる。
	学習者用端末を効果的に活用し、学習の理解を深める。	授業等での活用方法を教職員で連携し合い、効果的に活用できるようにする。	発達の段階に応じ、反復学習の場面、調べ学習の場面、表現の場面、交流の場面等、活用の場面を意識した指導を工夫する。段階的に児童の情報活用能力の基礎を培い、学習の理解を深めていく。
体力向上	健康で健やかな子どもを育てるとともに、安全に対する意識と態度を育てる。	巧緻性・力強さを中心とした体力の向上を図る。	体育指導の共有や業間体育の活用により、児童の体力の向上を図るとともに、指導改善に努める。また、ボールや長縄、竹馬、鉄棒などの運動環境を整え、運動の日常化を図る。体育専科を中心に、専門的知識を教職員に共有し合う。
		運動に対する意欲を高める。	ソフトロンやダンスロン、体力アップ週間等の各種運動集会の内容を充実させ、児童に体を動かすことの心地よさを味わわせる。体操やなわ跳び、ダンスなどに児童自らが取り組む仕組みをつくり、家庭での運動の習慣化を図る。
健全育成(いじめ防止)	心の教育の充実を図るために、規範意識や人を大切に する態度を育成すると共に 「いじめ防止」に努める。	「自分も友達も安全に楽しく学校生活を送れるようにする」という視点で、心も体も自ら健康にする力や他人を思いやる気持ちを高める。学校・学級が楽しいと思える気持ちや自尊感情や自己有用感を高める。	一人一人の良いところを認め合う学級環境を整えていく。毎月の心め実態調査や年3回のふれあい月間を通し、組織的にいじめの未然防止、早期発見・解決に努める。ふれあい月間に合わせて「いじめ」についての授業を実施する。
		副担任制を取り入れ、教職員が共通理解を図った生活指導に取り組み、規範意識を高める。	児童には毎月の生活朝会や安全指導を通して、規範意識を高め、自ら考えられるように指導していく。月2回程度の生活夕会を実施し、教員間の情報交換を行う。副担任制によって組織的に児童理解を図り、教育活動を進める。
特色ある活動	地域の教育力と学校教育活動を つなぐ組織を活用して教育 活動を進める。	小・中で共通理解を図り、二中学校区 の取組の充実を図る。	年3回の小・中連携の日を活用し、二中学校区の重点項目について共通理解を図る。また、二中学校区共通プログラム「あいさつ運動」に中学校と連携して取り組み、児童に「地域でのあいさつ」を意識させる。
		コミュニティ・スクールの良さを生かし、 取組の充実を図る。	学校経営協議会と連携して、学校をより良くするために毎月の学校経営協議会で共通理解を図る。学習支援ボランティアやNPO法人・地域人材を活用し、指導の充実を図る。
		食に関する指導の充実を図る。	食に関する年間計画に沿って、児童が本物と出合い様々な体験を通して、食の楽しさや大切さを感じ苦手な食品や料理を少なくしようと努力したり、「食」を大切にしようとする態度を育てる。
	特別支援教育	各学年で障がい理解教育を実施する 特別支援教育の指導法の共有と推 進を図る。	学校公開に合わせて理解教育の授業を行い、保護者への障がい理解を図る。年2回の特別支援教育研修と定期的なOJTを行うことで、特別支援教育の指導法や障がい理解の共有に努める。
業務改善	勤務時間管理と健康管理を意識 した働き方を推進する。	業務改善に向けた働き方について、具体 例を共通理解して実践する。 メールシステムやフォームを活用して家 庭との連携を図る。	業務のICT化により短縮できた時間を児童と向き合う時間に充て、教育活動の充実を図る。各種通信をスクールメールに添付して配信する。学校ホームページの更新を従来の学年・学級だよりとしていく。家庭からの欠席連絡やアンケート等はフォームを活用する。

	取組指標	成果指標
学力向上	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 児童の達成率で児童が80%以上
	3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3 児童の達成率で児童が70%以上80%未満
	2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2 児童の達成率で児童が60%以上70%未満
	1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1 児童の達成率で児童が60%未満
体力向上	4 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上	4 児童の自己評価で、肯定的回答80%以上
	3 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3 児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満
	2 教職員の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2 児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満
	1 教職員の自己評価で、肯定的回答60%未満	1 児童の自己評価で、肯定的回答60%未満
健全育成(いじめ防止)	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 児童の自己評価で、肯定的回答80%以上
	3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3 児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満
	2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2 児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満
	1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1 児童の自己評価で、肯定的回答60%未満
特色ある活動	4 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	4 児童の自己評価で、肯定的回答80%以上
	3 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	3 児童の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満
	2 教職員の取組評価で、肯定的回答60%以上70%未満	2 児童の自己評価で、肯定的回答60%以上70%未満
	1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満	1 児童の自己評価で、肯定的回答60%未満
業務改善	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の達成率が90%以上
	3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の達成率が80%以上90%未満
	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の達成率が70%以上80%未満
	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の達成率が70%未満